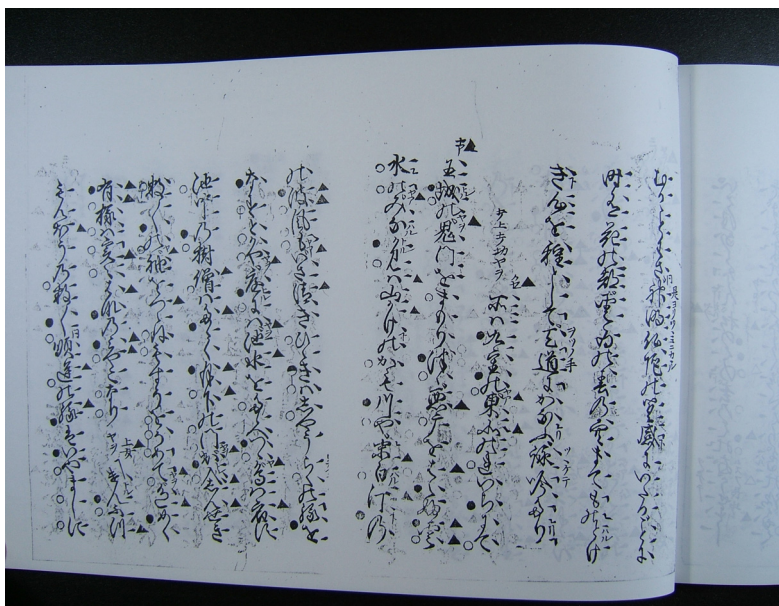
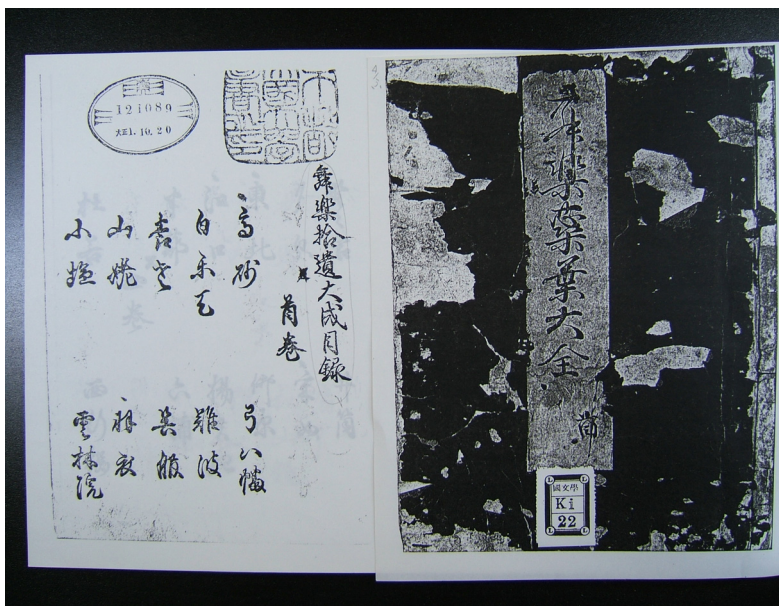


著者不明 『舞楽薬葉大全』

首巻には大鼓小鼓の手の名称と粒がまず列挙され、舞の手付と唱歌が続いて記される。二巻以降は、各曲別の囃子謡。謡の文言と節の右には大鼓、左には小鼓の粒を記す。掛け声は示されていないが、「ヤヲハ」などの間拍子を示す言葉（掛け声）は丁寧に記載されている。写真下は、第三巻の「東北」で、サシからクセの部分にあたる。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…舞楽拾遺大成（目録）、舞楽薬葉

大全（題簽）

著者 奥附…

その他の場所…

出版 版次…

出版地…大坂

出版社…万屋彦太郎（板）

出版年…

その他の場所…卷末 元禄12（1699）

形態 冊数…六冊 頁数…

寸法…

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…複写

備考 京科大学図書館所蔵の本を複写し、製本

して三冊にした。